

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平8-511417

(43) 公表日 平成 8 年 (1996) 12 月 3 日

(51) Int.Cl.<sup>9</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

C 1 2 N 15/09

9162-4B

C 1 2 N 15/00

A

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 71 頁)

(21) 出願番号 特願平6-523068  
 (86) (22) 出願日 平成 5 年 (1993) 4 月 9 日  
 (85) 翻訳文提出日 平成 7 年 (1995) 10 月 9 日  
 (86) 国際出願番号 PCT/US 93/03408  
 (87) 国際公開番号 WO 94/24278  
 (87) 国際公開日 平成 6 年 (1994) 10 月 27 日  
 (81) 指定国 EP (AT, BE, CH, DE, DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M C, NL, PT, SE), CA, J P

(71) 出願人 カタリティック アンティボディーズ, インコーポレイテッド  
 アメリカ合衆国 カリフォルニア 94304, バロ アルト, スイート 100, ハンセン ウェイ 3030  
 (71) 出願人 デイビス, クロード ジェフリー  
 アメリカ合衆国 カリフォルニア 94131, サンフランシスコ, メルカト コート 10  
 (71) 出願人 ファビアン, ゲイリー ロバート  
 アメリカ合衆国 カリフォルニア 94061, レッドウッド シティ, ルビー ストリート 1163  
 (74) 代理人 弁理士 山本 秀策

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 触媒抗体をコードする遺伝子の選択

(57) 【要約】

本発明は、標的ペプチドを切断するのに有効な触媒抗体をスクリーニングまたは選択する方法について記載する。特に、本発明の選択方法では、ファージの産生に必要な遺伝子産物をコードするファージ遺伝子が選択される。改変された遺伝子を有するファージが宿主に導入される。また、クローニングベクター内の再配置された免疫グロブリン遺伝子のライブラリーが宿主細胞に導入される。宿主細胞は、免疫グロブリン遺伝子が宿主細胞内で発現する条件下で成長する。標的ペプチドを切断し得る抗体の存在がファージの産生に基づいて同定される。